富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

山陰沿岸の砂浜に漂着するスズメガイダマシ類背殻

著者	吉岡 翼
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	41
ページ	85-86
発行年	2017-06-20
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=1058

富山市科学博物館研究報告第41号，pp. 85－86；(2017)
Bulletin of the Toyama Science Museum, (41): 85－86；(2017)

短　　報

山陰沿岸の砂浜に漂着するスズメガイダマシ類背殻＊

吉岡　翼
富山市科学博物館
939-8084 富山市西中野町1-8-31

Disciniscid dorsal shells washed up on the beaches in San' in region, Japan

Tasuku Yoshioka
Toyama Science Museum
1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama-shi,
Toyama 939-8084, Japan

スズメガイダマシ類 *Discradisca* spp. はカサガイ様の背殻を持つ腕足類で，潮間帯中部から潮下帯の底質に半没した礫の下面に固着生活する（Kato，1996; 三浦ほか，2012）．国内では瀬戸内を除くと報告は乏しく希少な生物として認識されていたが，近年日本海沿岸からも知られるようになり，山陰沿岸では隠岐と境水道からの報告がある（島根大学隠岐臨海実験所，2011; 大澤・倉田，2016）．これまでの生息記録からは潮通しの良い湾口や海峡部に生息すると考えられているが（小木曽ほか，2014），北陸沿岸では外洋に面した砂浜でスズメガイダマシ類の背殻が豊富に漂着している（吉岡，2016）．そこで山陰沿岸においても砂浜における漂着状況の調査を行ったところ，背殻が豊富に漂着している事例が確認できたのでここに結果を報告する．

調査方法

図1に示す5地点の砂浜において各1時間程度，ドリフトライン上に5 mm程度の貝類が集積している場所を中心として目視で探し，見つけたものを採集した．調査日は図1に示す．採集した個体は水洗したうえで乾燥させ，実体顕微鏡で観察してスズメガイダマシ類であることを確認した．なお，種レベルの分類には問題が指摘されているため（三浦ほか，2012），ここでは属までの同定にとどめる．

結果と考察

舞鶴市神崎海岸から米子市弓ヶ浜にかけての3地点からスズメガイダマシ類背殻の漂着を確認した（図1，2）．このうち弓ヶ浜の背殻38点は日本海側における同様の調査で1度に得られた点数としては最も多い．殻長は3.8～11.0 mm で，5 mm 程度のものが多い．吉岡（2016）が北陸から報告した背殻の形態とおおむね一致するが，大型の個体でも殻質は最大約450 μmで，肥厚したものはなかった．殻表面にはゴカイ類の棲管や固着性有孔虫，糸状性藻類などが残っていることがあった．

薄質な背殻は沿岸流で容易に運ばれるものと考えられるが，破損していないものが多く，剥離しやすい表生生物骨格が表面に残っている例があることから，生息地は漂着地近傍と考えられる．海岸に漂着するスズメガイダマシ類が具体的にどこに生息していたものかは推測の域を出ないが，北陸から山陰にかけての多くの砂浜海岸でごく普通に見つかることから，外洋に面した海域でも固着できる場所があればかなり広範な環境に生息しているものと考えられる．

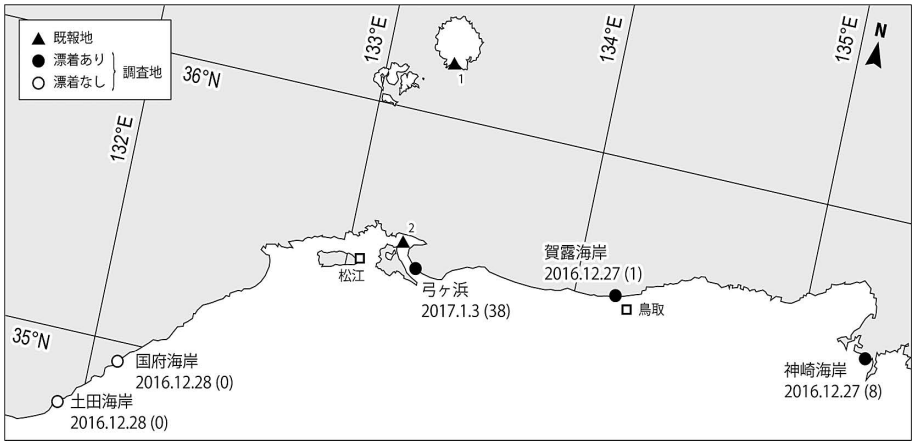


図１．調査地とスズメガイダマシ類の既報地．調査地の（　）内は採集個体数．1: 島根大学隠岐臨海実験所（2011），2: 大澤・倉田（2016）．

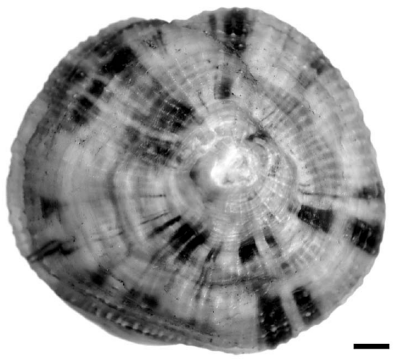


図２．弓ヶ浜から得られた*Discradisca* sp. の背殻．スケールバーは1 mm．

＊富山市科学博物館研究業績第521号

文献

Kato, M., 1996. The unique intertidal subterranean habitat and filtering system of a limpet-like brachiopod, *Discinisca sparselineata*. *Canadian Journal of Zoology*, 74: 1983-1988.

三浦知之・三浦　要・富岡　宏・佐伯めぐみ・三橋利恵，2012 宮崎県門川町庵川アマモ場とその周辺に出現する貝類，甲殻類および腕足類．宮崎大学農学部研究報告，(58): 51-68．

小木曽正造・又多政博・幸塚久典・広瀬雅人，2014．石川県における腕足動物スゲガサチョウチンの初記録．のと海洋ふれあいセンター研究報告，(20): 11-16．

大澤正幸・倉田健悟，2016．スズメガイダマシ科（腕足動物門: シャミセンガイ目）の日本海沿岸からの新記録種．島根大学研究機構汽水域研究センター第23回新春恒例汽水域研究発表会・汽水域研究会第4回例会合同研究発表会 講演要旨集: 7．

島根大学隠岐臨海実験所編，2011．隠岐臨海実験所周辺の動物リスト．32p.，島根大学隠岐臨海実験所．http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/ercbr/jikkenjo/images/fauna.pdf ［2017年2月20日閲覧］

吉岡 翼，2016．北陸沿岸におけるスズメガイダマシ属（腕足動物）の打ち上げ背殻．漂着物学会誌，14: 39-40．